



普通選挙の精神

普通選挙は我が建國以來の一大革新とも言ふべきであつて、將來に於ては國政及び地方政治に參與するものは如何なる場合であつても一部特權階級若くは有産階級に限られて大多數の無産階級が政治に參與するを得るに到つたのは、實に普通選挙の斷行に依つて始めて出来たものである。即ち普通選挙は國民平等の原則に基き政治の前に於ては貧富の差別を認めない、日本一の大金持もその日にパンを稼ぎつゝある労働者も参政權の前に立てば絶対に平等である、されば我々は今後政治上に於ては有産階級の特權を認めない、同時に無産階級の特權をも認むべきでない有産階級の跋扈を許さざるを共に無産階級の横暴をも許さざるべきである、國內に於ける一切の階級は互に一致し調和して、國家の進運と國民の幸福利益に向つて最大なる義務を果さねばならぬ、此の權利を行使するに於ては飽迄も合理的に如何なる場合に於ても法律の軌道を従來の夫れよりも一層嚴重

普通選挙の行使

踏み外すことなく、之に依つて自己の運命を開拓すると同時に國家の運命を開拓することに努力せねばならぬのである。

選挙權の行使に就ては選出される様になつたのであるの行使を怠ると云ふが如き原原則に基き政治の前に於て此の點に就ては充分なる考慮を拂はねばならぬのである。

有権者としての注意

有権者として其の選挙に臨むに當つては心得べき幾多の事柄があるのであるが特に左の諸點は之を胸中に藏めて決して忘れてはならぬのである。

- 一、候補者の人格識見に注意すること。
- 二、政黨の實質と其の政策に注意すること。

二大常設館

一、候補者の人格識見に注意すること。

二、政黨の實質と其の政策に注意すること。

有聲座

三、一切の利害誘道の排斥を爲すこと。

四、棄權せざることを、即ち棄權は國民の義務に反する罪惡なりと知らねばならぬ。

五、選挙に臨むに當りては選挙に關する法律の規定を心得置くべきこと、是れ又次號にて報導する事に致します。

(普通選挙普及會談)

平市況

白米 上同 三五〇〇 中同 三四〇〇 下同 三三〇〇	石炭 塊炭 一五〇〇 同中 一三〇〇 同下 一二〇〇	木炭 雜割 一四〇〇 同丸 一三〇〇 同割 一二〇〇	呉服 晒中 一〇〇〇 同下 九〇〇 遠州 八〇〇 同下 七〇〇	野菜 白菜 七〇〇 大根 六〇〇 葱 五〇〇 人参 四〇〇	紙類 機械半紙上等 四〇〇〇 全中等 三〇〇〇 洋半紙上 二〇〇〇 全中下 一〇〇〇 全下等 五〇〇	茶 本場上 三〇〇〇 全中 二〇〇〇 全下 一〇〇〇 其他三圓より七圓迄
--	--	--	--	--	--	---

御用命の際には(電四一一)へ多少遠近に拘はらず迅速に配達致します

和志一和醬油

平町外平窪(電話四一一番)

醸造元 和草野屋本店

石城郡平町一丁目

各種洋服 品質本位 迅速丁寧

仙臺屋洋服店

電話六二二番

御下命の際は電話六二二番に御掛け下さい

ば遠近を問はず至急店員参上いたします

平町一丁目

男女用 ジャケット 洋品各種

今山家 メリヤス店

電話六〇五番

既製品 洋服各種 在庫豊富

おかや洋服店

電話二〇三番

福島縣平町新川町

松崎長三郎

電話一七二番 振東一五九九

羅紗洋服既製品商

柏屋洋服店

平町壹丁目十四番地

萩原齒科醫院

院長 萩原義雄

電話二五九番

石城郡平町南町

日英米佛獨專賣特許

全女王醬油

福島縣平町

ヤマト醬油株式會社

電話七四一番

新刊書籍文具

速迅は次取書圖刊新

ろいろいのシバカ生學他のそ

店書モトルマ

番四三二話電日丁四町平

お客の心を巧みに擱んだ 奇抜な販賣術

●店名販賣の大成功

これは一つの小さい酒店の店より目立って廉く賣つた實例であるが、極少資本本五、近所の人の手紙或は簡君は平町實業家として知られ、一年足らずの内に澤山の單なる届書などの代筆を無得意を作つた好典型である料でした。

から紹介する、同店が開業右の五ヶ條を唯一の武器と早々より斷呼として實行して一年足らずの間に近所産四隣を壓する概あり多数の店員を鼓舞督勵し専心家た商策を販賣術化したものの評判となりメキメキと大の繁昌をする様に成つた。

一、モツキ酒の客...即ち一寸腰を掛けて一杯酒をこれ一つの景品で二度お客へ今や信用廣く資産豊富に

●仙台屋吳服店

店主 明智淺吉氏

せるといふ方法である即ち二度客が来ればまた多少何か買ふといふ所が思ひつきである。

を處する果斷流るゝが如く常識圓滿にして時流に秀でたる氣魄を持し人に交るに謙讓人格高尚にして實に當代稀に見る模範實業家たり氏の實子榮司氏は實父に習へ人格尚ほ更に勝れりとも劣らぬ人、內的の商業に力を注ぎ凡てに忠實なる事は親に勝れる竹の子ならずや將來その名の如く幾多榮冠を荷ふ青年實業家であらう

本縣政友會の重鎮 思想圓滿にして人格高尚の士 第三區衆議院議員公認候補者

本村清治君

やる客には損得を眼中に置を呼ばうといふ趣向で月並取引益々繁多を極め同町實業界の元老を以て目せらるる君は又常に社會公共の事に奔走し遂に擧げられて町會議員の名譽職にも選はれし事數回又教育の普及交通の整理風紀の改善基本財産の増殖産業の開發等に盡力し

二、瓶や樽などの容器を以てその容器に相當しただけ客に景品を渡す議員の名譽職にも選はれし事を數回又教育の普及交通の整理風紀の改善基本財産の増殖産業の開發等に盡力し

三、片店に油を賣つてゐる渡す、而して一定の日を極聲望旭日の天に冲するが如

その都度賣上量に應じてマキの景品を店內に陳列し、なり而も孝順篤志に富む公

ツチを無代で添へてやつたさきに番號札を持つて行つ共慈善事業に貢献して賞

四、元結、ビンツケ、マツた人をして來店の上自由を得しもの枚舉に邊なし學

チなどの細々した需要の多同番號附きの品を持ち歸らり誠あり新氣進銳に富み事

料理店としてより 俱樂部として

一の井主の談

平町の名物「イヤ」日本全國にも稀しい嚴めしい石門柱を立て、納り返る一の井と云いば花柳界の變者?

定めし門柱にも似たる親父ならんと石門を叩は安外に若へ男で挨拶も町噂に二三の話の内共鳴せられ「商業新報」とは私等商賣には一寸縁遠へ事ではあるが而し當平町が今日の發展振にも似合ぬ機關紙のなかつた事は残念であつた是非實業界の爲に一肌抜いて努力し

でもらいた私等が商賣も料理店と云いば一般享樂場の様には思はれて居るが、とは全く返對な貴紙と同様實業界の一機關として或る時は商業會議所に、或いは外交上の應接所等種々なる方面の俱樂部として位に打解けて利用してもらいたと思ふ云々と語られた「いかにも實業界の味方になつて居る様だ」といふ、こうし

實業界の活動家である事が思へらると共に一層誠實なる料理店一の井を實業界の指定俱樂部として利用せられん事を願ふ。

近江屋號
銘酒 近盛 余馬目支店
警城平田町二十五番地
電話二五四番

二本松電氣 小名濱支店
株式會社
福島縣石城郡小名濱町

株式會社平活版所
植田支店
電話一〇五番

福島縣平町
釀造元 山崎合名會社
電話(營業部)一〇番
(醸造工場)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂町四三二

東京支店
電話(淺草)五七二八番
(東區)六八三二一八番
振替東京六八三二一八番

福島縣平南町六六
乘合貨切 芹澤自動車部

木炭商 鈴木金三郎商店
石城郡四倉新町

米雜穀 布袋屋號
木炭商 伊藤隆次商店
警郡國小名濱町

其他和洋菓子、果實、當濱名産品販賣

世界的萬年瓦は愈其眞價をして
福島民報社主催縣下物産投票に於て
第一等第一位の榮冠に認識せ
らるゝに至り候事は偏に貴下御後援
の賜と深く御禮申上候
昭和三年二月一日
萬年瓦工業株式會社
社長 江口忠一

プライム
ゼブラ號自轉車
アスカ
惠比壽屋商店
福島縣平町南町六十番地
電話六六四番

其他修繕及附屬品一切
各國文具・運動器・萬年筆
新刊圖書・雜誌・唐紙用紙類
吉肆書 清光堂本店
平町二丁目九番地
電話一三三番
振替五三八八番
新刊書籍御注文の際は迅速確實に御取次ぎ致します

平町停車場前
明雲堂眼科醫院
電話六六九番

磐城無盡商會
會長 小宅嘉久治

諸機械工具類
輸入製作販賣
T S 式船用小型發電元
石油發動機製作發賣元
トバタ式小型石油
發動機一手伏理
福島縣石城郡平町白銀町
治釜清商塵
電話四三二九
電話(セ)一

ア系白磁分譲す貴下所有の名古屋種
又は白レグと交配し多産なる一代雜種
を造れ

湯本町常設館

湯本座

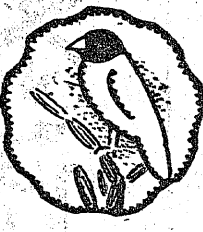
養雞

鶏を飼ふなら系統選べ
優良多産のアトキンソン

湯本町常設館 館主青木兼次郎 養雞 都々逸 優良多産のアトキンソン 又白レグと交配し多産なる二代雑種を造れ 平窪村 松本晃一

所處女演説

松 鹿 生
烈しい心臓の鼓動を抑へながら私は演壇に立つた。それは私達母校の春季同窓會の演壇である、急激の様な拍手を後から浴せかけられた時は、密かに誇りを抱いて威勢よく演壇に上り大勢の若人達の居る講堂を見渡したその廣い講堂には白い顔のみがポーとして限り無く並んで居てそれ以外ものは何もわががらなく、只不安な怖ろしい或る感情が頭の中にモヤ／＼と起つて私は眞赤に成つた、妙に足の關節がブル／＼ふるふるのを微かに知る位の不明瞭な意識の状態にあつた、そして何時の間にか演説を始めて居たが何を話して居るかさへも自分には瞭然とわからない様な心地がした。初めて演壇に立つ私は諸君の出来る様に習つた腹案をそのまゝ、べら／＼と述べた。居たのであつた「聴衆や観客の前に立つた時は唐茄子か馬鈴薯かごろ／＼と並んで居る様な氣持ぢや、れ」と誰かの云つた言葉がふと思ひ浮んで来た、ハツとして半意識に返つた、微かにふるふる居た足も何時か落ちて居る聴衆の白い顔の並んだのに怖れては、あてもなく天井を見上げた眼も次第に瞬きしなくなつて居た「聴衆を呑んでか、らう」と云ふ大きな決心が心の隅の方から次第に擴がつて身中に漲つて行つた。「今迄私が話して来た様に……」一段と聲を大きくして講堂の隅迄見渡した、と南側に並んで居る女生徒の中にM子の顔を見出した、瞳と瞳とが合つた時に彼女の顔に微笑が浮んだ、が私は周章で、眼を外らした、



小月下の熱情子
T 村 澄 子
針を合わせた様な寒風が残つた。少くも木の葉を鳴らして吹き荒む中に月は青白い光を投げて超然と木枯の中に浮いて居る、
一丁餘を黙して歩み続け居た信也はソツと女の側に進み寄ると思ひ切つた様に口を開いた、「一体僕は貴女を何う思へばいいの」「貴郎は何と思召す？」妙子は愛らしい笑を口角に漂せて茶目らしい眼で信也を見上げた、
「僕は判断に苦しむ……勿論貴女を愛して居る事は確かだ爲し何う愛せばいいの、か貴女の態度が判然としなないので僕は迷つて居る僕わ聞くが……」「アラ私の態度に？ぢや私は今迄不可ない子だつたのね貴郎を苦めて悪い私」と云つて彼の女は眞晝の様な快活な調子でクク笑つた、茶化し初めた

と涙とに勞働して居るもので、眞面目に僕の言ふ事を聞いて下さい、そしてはつきり返事をして下さい……ね、僕は貴女の心を何う取ればいいんです。貴女は僕に只従妹として愛して呉れど云ふのか但しわ……」「アツ、それでいいのよ、それが良いのよ其處に微妙な愛の幸福つてものがあつて居る、兎に角私は貴郎を愛して居るの信也さんが好きだわ」「不可ない貴女は如時も肝心な處でゴマ化して居る。貴女が僕を愛して居ると言ふのは六七才の頃からぢやないか。僕はそんな單紙な愛に満足する事は出来ない。完全に貴女を愛し度と言つて居るんですよ」「ですから私の愛は完全よ、何處を覗いても私の愛に隙間はないわ、従兄としての信也さん私は充分に愛して居るし、それから異性のお友達としても充分信頼して居ますねそれには貴郎大事なく私の英語の先生ぢやなくつて？先生として此の上なく敬愛して居る」

御料理 一の井
七六一電 町田野平

居る事の出来なくなつた、近頃自分の愛を返けるでもなく何時も茶目で相手をはぐらかす態度に甚く焦つたが……「妙ちゃん今夜は僕は元

……寄稿歓迎……
わ肉親の愛師弟の愛朋友の愛、三方揃つてゐる、依つて私の愛は完全と事ぶ事が出来るのよ」流々と澄んだ其の聲、活き活きとした明るい顔、人を戀する様な羞恥を含んだ物柔さは何處にも見えなかつた、只聰明さ(以下四面へ續く)

茶卸小賣 小沼辰次郎
九五町南町平
リモ歯科医院
院長 森 芳雄
町本町田植

中野洋品店
警城平町二丁目 電話 五三番

良品格安の 買へ良き店
仙臺屋呉服店
平町二丁目 電話 二七番

代理店 魁文堂
學用品文具問屋
平町字播磨小路五
電話 三〇六九
振替 仙台三〇六九

紙問屋 坂本紙店
平町一丁目 電話 一八番

鑄 隸 諸印刻 方圓堂
筆 耕 刻 諸印刻 方圓堂
都 甲 正 三
平町二丁目

平野サービスステーション
警城國平町驛前 電話 六一番

磐城セメント特約 和洋金物問屋
釜屋商店
平町 電長九番 電二三九番

米穀 煙草、砂糖、鹽、荒物雜貨
商舎吉田卯三郎商店
木炭 松崎、菊地、芹澤自動車平窪停留所前
至急御入用の際は自動車にて御届け致します

平活版所
電話 三〇二番

